

## 第70回福島県総合体育大会バスケットボール競技〈少年女子決勝戦評〉

日時 平成29年7月10日(月) 11:30～

場所 あいづ総合体育館

郡山商業高校 — 福島西高校

第1P、福島西#5のレイアップでの得点から試合が始まる。両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスでの守りとなった。郡山商業は#4の3Pシュート、#7のインサイドプレーで得点を重ねる。一方、福島西は#5のゴール下の力強い1対1、#10のカットインプレーで得点を重ねた。序盤からゴール下の1対1やリバウンド争いの厳しさや激しさは見応えがあり、互いに譲らず26-22郡山商業リードで終了した。

第2P、開始早々、郡山商業#14の3P、#7のインサイドプレーと立て続けに得点を重ね31-24となったところで福島西がタイムアウトをとる。タイムアウト後、福島西は#5のインサイドを中心に得点を重ねるが、その差は縮まらず48-37郡山商業リードで前半が終了した。

第3P、福島西#11のレイアップでの得点から後半が始まる。後半も両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスを継続する中、徐々に郡山商業のディフェンスの厳しさが増し福島西は苦しいシュートを打たされる展開となった。郡山商業は#4、#7、#17が確実にリバウンドをとり速攻で得点を重ねリードを広げる。69-48郡山商業リードで終了。

第4P、第3P同様、郡山商業は厳しいディフェンスから確実にリバウンドをとり速攻で得点を重ねる。一方、福島西は#6のジャンプシュート等で食い下がるが、郡山商業の勢いを止めることができず88-65で試合終了。郡山商業が優勝を決めた。

大会期間中、厳しい暑さ以上に熱い試合を繰り広げた両チームに賛辞を贈りたい。また、郡山商業においてはNHK杯優勝の存在感と力を十分に発揮する試合となり、今月末、本県で開催される全国高校体育大会での活躍を期待するとともに応援したい。